

教会の交わりに生きる（「召されている」という生き方⑥）

使徒の働き 2章 37～47節



前回、歴史や民族や地域を超えた神の一つの教会（公同教会）と、エペソ教会、コリント教会そしてニューコミュニティというような各地、各時代のクリスチャンの交わりとしての教会（地域教会）について学びました。新約聖書では、そのような一つの教会から、各地域の教会、そして一つの家の教会もふくめて、すべてを「エクレシア」という言葉で表しています。

① 教会は、キリストによって召された人たちの交わりです

“すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。” 1^o 1:4

“キリスト・イエスのしもべ、神の福音のために選び出され、使徒として召されたパウロから…ローマにいるすべての、神に愛され、召された聖徒たちへ。” 0-マ1:1,7

② 私たちの交わりは、キリストによって委ねられたものを共有し、

分かち合い、ともに携わる、一つのからだとしての交わりです

“あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。” 1^o 4:4-5

“信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。” 使徒2:44-45

“一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。” 1^o 12:26-

“あなたがたが最初の日から今日まで、福音を伝えることにともに携わってきたことを感謝しています。あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。” 1^o 1:5-6

③ 私たちは、「小さな交わり」によって、そのような交わりをめざします

“そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。” 使徒2:46-

<話し合ってみましょう>

・私たちが「大きな教会」の一員であることを感謝しつつ、同時に「小さな交わり」を大切にするのはなぜでしょうか。